



輝く街づくり

市政に新たな種をまき、
芽を育てよりよい街にしよう!

VOL. 58

たけちゃん通信

和光市議会議員
議会運営委員会委員長
総務環境常任委員会委員長

吉田たけし



令和6年和光市議会12月定例会

令和6年和光市議会12月定例会(議会)が、11月28日(木)より会期22日間の日程で開会し12月19日(木)に閉会致しました。

今議会には、陳情第4号資産課税の軽減等に関する陳情書、議案第82号から議案第100号の19議案が上程されました。最終日に議案第101号職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて、議案第102号令和6年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第4号)、議案第103号令和6年埼玉県和光市和光都市計画事業和光市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)、議案第104号専決処分事項の指定についての一部を改正することについて追加上程されました。議案第102号、議案第103号については、議案第101号についての給与改定に伴い、係る人件費を増額補正するものです。議案第104号は、地方自治法の一部改正に伴い、文言の修正をするためのもので、議員提出議案として上程しました。

議案第82号、土地の交換について

今回の土地交換は、イトーヨーカドーの横にある市有地で、丸山台区画整理事業において生み出され、市が所有している土地となります。執行部はこれまでこの土地をことあるごとに事業の推進ということで、この土地との交換促し交渉してきた経緯があります。下新倉小学校建設の際の土地の交換をはじめ、様々な施設の建設の交渉に使ってきました。今回駅北口高度利用化推進のためとして土地交換を行います。これまでの事業において、土地交換を提示交渉していざとなったら市の重要な土地で今後商工会館、観光案内所、市役所出張所などあらゆる面での活用を考えるとこのこと、最終的には土地交換を提示したにもかかわらず破棄してきました。これはこれまで数多くの事業での交渉相手に対していかがなものかと思いますが、駅北口の再開発事業が確実に一歩前進すること、北口地域の発展を願って賛成いたしました。

議案第83号、財産の貸付について

財産の貸付については、議事堂1階スペースをファミリーマートに貸付けるものです。議事堂1階については、令和3年3月にレストランが撤退した以降、市民スペース、また職員等の休憩スペースとして開放している状況であります。今回の財産の貸付では、市民や市役所、市民文化センター利用者がより利用することができ、憩いの場と周辺のにぎわいの創出、職員の福利厚生を拡充を目指すことを目的に、有効活用事業者を公募し、選定委員会の審議を経て、ファミリーマートを優先交渉権者として決定しました。今回の貸し付けについての支援金は、改修工事費33,718千円のうち市負担金6,215千円、行政財産使用料年間3,969千円免除、想定光熱費年間2,16万円免除、運営支援金年間平均日商20万円未満の場合に発生、最大460万円の支援金を行うということです。緑風会としては、現在の職員や市民の皆様が交流スペースとしてお昼時などは憩いの場所となっていると感じています。緑風会はこのスペースの活用についての問いかけについて、食料品などの自販機等の設置の充実を要望しました。

市は、これらの条件を負担したとしても、当初の目的を十分に達成できる提案であると判断されたとのことですが、支援金については疑問に思うところもあり、また、このことの報道発表があり、報道発表される前までは、緑風会としては苦渋の決断で賛成する意向でしたが、多くの市民の方から市民の血税の使い方について、ご意見を頂きました。また、市民文化センター利用者がより利用することができ、市民文化センター開会時に営業することで更に支援金が増額されることとなります。職員の福利厚生を拡充を目指すことの目的とのことですが、現在の状況で様々な自動販売機を設置することで目的が達成すると考えます。更に自販機設置は設置使用料がもらえるとも思います。近隣には、わびあ内のレストラン、総合体育館前にはコンビニ、大手スーパーマーケットがあります。このようなことから、市民の血税を支援金としての支出には、市民に寄り添う緑風会としては、反対せざる負えないと考え、反対いたしました。

採決は、可否同数だったため、地方自治法第116条第1項の規定により、議長において可否が採決され、現状維持の原則と言うことで、議長採決は否決とされ否決されました。

一般質問抜粋

●病児・病後児保育について

質問:病児・病後児保育施設設置状況と利用状況、来年度から和光駅前クリニックでの病児・病後児保育室が始まる予定ですが準備状況も合わせて伺う。

答弁:病児・病後児保育施設の設置状況については、市内には2か所の施設がありますが、このうち、1施設が令和4年4月から休止しているため、令和6年4月1日現在は、1施設、定員4人で事業を実施しています。利用者数は、令和5年度は延べ95人、令和6年4月から10月までの7か月間では延べ34人となっております。また、令和7年4月に開設予定の和光駅前クリニックでの病児・病後児保育室については、整備にあたっての方向性に関する協議を重ねている他、整備事業者の選定など工事に向けた準備を進めている状況と伺っております。

質問:今後病児保育を利用やすくするためには、オンライン診療などの導入も必要だと考えますが、オンライン診療の導入も考えていくのか伺う。

答弁:病児保育を利用するにあたり、オンライン診療等で、手続きにかかる時間が短縮できることは、利用者の利便性の向上になると考えております。当市としても、このような先進的な事例を参考とし、オンライン診療の導入について研究してまいります。

●自動運転サービス導入事業について

質問:自動運転サービス導入事業令和7年度以降の事業計画について説明がありました。その中で自動運転車両による市民・事業者への移動のサービスの提供とあります。事業者への移動のサービスの理由を伺う。

答弁:現在、整備を進めている駅北口の交通拠点と産業拠点を自動運転バスで接続することにより、鉄道から産業拠点へのアクセスが向上し、企業進出や駅前の商業施設などの利用が促進され、地域経済の活性化を図ることができると考えています。

コメント:事業者への移動のサービスの提供より、市民の移動の確保が大切です。令和7年度から令和11年度までの概算事業費も報告され、2千万円から5千5百万円の市負担費用が示されました。あまり市民が利用しないS Gリアルティ和光線にこのような費用をかけるのではなく、市民の外出機会、移動手段の取組が必要です。他自治体では、新たな移動の手段として、小型乗り合いバス、わこばのワンボックス程度の車両で、停留所を決めて、予約で運行する取り組みも行われています。運行者はタクシー事業所のようなです。当市もタクシー事業者のタクシーを借り上げてこのようなサービスを導入したら市民の移動の確保が出来ると思います。

■運用費用		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
方針	社会実証/社会実装	社会実証	社会実装	社会実証	社会実証	社会実装
	自動運転レベル	レベル2	レベル2	レベル4(一部)	レベル4(一部)	レベル4(一部)
支出(税込)	イニシャルコスト	¥109,000,000	¥68,000,000	¥95,000,000	¥69,000,000	¥115,000,000
	ランニングコスト	¥33,000,000	¥29,000,000	¥50,000,000	¥50,000,000	¥25,000,000
	市が支出する項目合計	¥142,000,000	¥97,000,000	¥145,000,000	¥119,000,000	¥140,000,000
収入	補助金	¥122,000,000	¥73,000,000	¥98,000,000	¥84,000,000	¥86,000,000
	市負担費用合計	¥20,000,000	¥24,000,000	¥47,000,000	¥35,000,000	¥54,000,000

●私は、自動運転は、これから必要と思っておりますが、以前から二車線化はいらなと思っています。

莫大な市民の税金を使うのであれば、市民に寄り添った、市民の外出の機会、移動手段の取組を考えていただきたいと思っております。

その他、公園トイレ設置、和光高校閉校後の活用、防災訓練、防犯対策、文書管理、庁舎内でのハラスメント対応について質問しました。

吉田たけし議会報告会及び意見交換会

日時:令和7年2月16日(日)16:00~18:00 場所:白子吹上コミュニティセンター 和光市白子3-8-30
 入場無料、事前申込不要。当日直接ご来場ください。お問合せは、吉田たけし後援会へご連絡ください。

市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでもご遠慮なくご相談ください。皆さんと一緒に考えて行きます。



吉田たけし後援会

会長 柳下 正一

この会は、吉田たけしさんを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は下記にご記入の上、この面をFAXしていただくか、吉田たけしオフィシャルサイトより必要事項を記入の上、送信してください。

FAXの方はこちら ご記入上そのままFAXしてください。

インターネットの方はこちら

お名前	_____
ご住所	_____
ご連絡先電話番号	_____
携帯	_____
メールアドレス	_____

PC、スマートフォンからも可能です。



<http://takechan-yoshida.jp/new/kouenkai.html>

吉田たけしの今を伝える。
 日々の活動をSNSを使って配信しております。



ホームページ



ブログ



Facebook



X